

いま協同を拓く
2004全国集会
inながの

オープニングアクト

下諏訪町木遣保存会

全国的に見ても珍しく、また勇壮な祭りとして知られる諏訪の御柱祭。

1,000人をも超える氏子たちが気持ちを一つにし、大きな柱を曳いていく様はいかにも豪快であるし、見ている人間に大きな感動を与える。

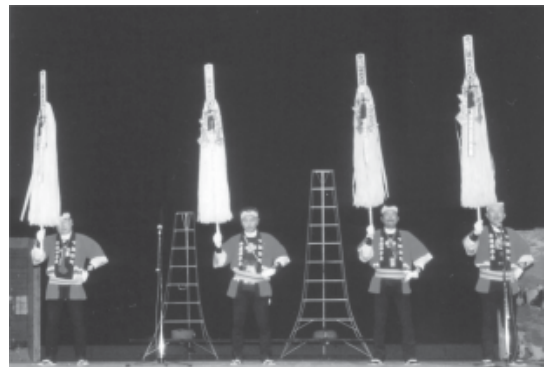
しかしこれだけの人数の氏子たちが気持ちを一つにできるのも木遣りによる号令があり、それによってそれぞれの気持ちが紡ぎあわされていくからである。

木遣りは1,000人の協同を導き、後押しし、また自らもそれに加わり共に祭りを成し遂げていくのである。



下諏訪町HPより

木遣り唄	「ヤーレ 奥山の太木里に下りて神となる ヨーイサ ヤレヨーイサ」
綱渡り	「ヤーレ 伊勢神明天照皇大神宮 八幡大菩薩 春日大明神 ヨーイサ ヤレヨーイサ」
曳行	山の神が先立ちて花の都へ曳きつける ヨーイサ ヤレヨーイサ」
「ヤー	山の神様 お願いだあ」
「ヤー	木落しご無事で お願いだあ」
「ヤー	皆様ご無事で お願いだあ」
最後に	
「ヤー	全国集会のご盛会を お願いだあ」
(会場)	「ヨイサ ヨイサ」



まつり創造集団 結衆大地

- *1984年 長野県下伊那郡高森町の地元青年団・OBが中心に『大地の会』を結成のちに、失われつつある結いの心（地域住民の助け合い）を取り戻し、次の世代へ伝えたいとの願いを込め、会の名称を「結衆大地」に改める
- *1987年 高森町町制施行30周年に「高森太鼓」の制定に制定委員として携わり、30周年記念式典において演奏・披露
- *1992年 この年から各地域の保育園で演奏し、また園児たちにも指導を行い「大島山こども獅子舞」が誕生する
- *2001年 全日本郷土芸能協会に入会、「結いの心 次代へ」をテーマに『地域づくりフォーラム』を開催
- *2004年 10/31 に行われる第9分科会「文化が育む人と地域」に報告者として参画



上山田大わらじ委員会

- *1997年 地域活性を願う地元有志により設立
 - *この年より、毎年その年に取れた稲を使い「大わらじ」を作り、地元智識寺に奉納する「大わらじ奉納祭り」を開催
- *2004年 6/19 協同集会プレ企画 「古代稲による稲文字～田植え～」を主催
 - *8/14 新宿ホームレス支援機構の主催する第11回新宿夏まつりにミニわら馬作成実演会などで協力
 - *9/25 協同集会プレ企画 「稲刈り・はざかけ」を主催
 - *10/29 協同集会プレ企画 わら馬作成体験「伝承とわらの美」を主催
 - *10/31 に行われる第9分科会「文化が育む人と地域」に報告者として参画

